

法学会雑誌第六一卷

(通巻 自第二二二号
至第二二六号)

総目次

論 説

連帯保証人間の求償関係について……………	吉岡 伸一	六一	一	(一一)
担保保存義務に関する一考察……………	吉岡 伸一	六一	一	(一一)
——沿革的・比較法的考察(一)——……………	辻 博明	六一	一	(一一三)
損害額の認定についての一考察……………	伊東 俊明	六一	一	(一一三)
「法教育」に関する一考察(二)……………	辻 博明	六一	一	(一一三)
フランス革命期の公的扶助制度の形成……………	波多野 敏	六一	一	(一一三)
——国民公会期を中心に(二)——……………	築島 尚	六一	一	(一一四)
厚生省におけるキャリア官僚の人事制度……………	成廣 孝	六一	一	(一一四)
有権者の中の政党システム……………	成廣 孝	六一	一	(一一四)
ヨーロッパ四カ国の分析……………	成廣 孝	六一	一	(一一四)
委託者の相続人に対する受託者の情報開示義務……………	岩藤美智子	六一	一	(一二七)
——考察するための準備的作業として——……………	岩藤美智子	六一	一	(一二七)
民事再生手続による担保権、特約等の変更(五)……………	吉岡 伸一	六一	一	(一二七)

57 (三〇二)

担保保存義務に関する一考察

——沿革的・比較法的考察(二)……………辻 博明 六一—二 (二二四) 七一(二四七)

民事名誉毀損訴訟における「公的人物」と「法人」……………吉野 夏己 六一—三 (二二五) 一(三六一)

仮保全措置による国際共同体利益の保護可能性

——国際司法裁判所における判例の動向……………李 禎之 六一—三 (二二五) 五七(四一七)

迅速裁判条項に関する判例法理の初期展開……………原田 和往 六一—三 (二二五) 1(六二八)

Roberto Unger の法社会学論：その方法論的考察(一)

——制度構想の法学第二の序説……………吾妻 聡 六一—四 (二二六) 一(六三一)

民事再生手続による担保権、特約等の変更(六)……………吉岡 伸一 六一—四 (二二六) 六五(六九五)

「法教育」に関する一考察(三)……………辻 博明 六一—四 (二二六) 七七(七〇七)

研究ノート

ドイツ雇用調整をめぐる諸問題……………藤内 和公 六一—三 (二二五) 43(五八六)

初学者のための法学教育に関する一考察

——法学部と法科大学院における連携・接続教育……………辻 博明 六一—三 (二二五) 八七(四四七)

判例研究

主債務者破産の場合における

保証債務履行請求権の時効管理……………吉岡 伸一 六一—三 (二二五) 九五(四五五)

公害防止協定と公序良俗違反

——福津市最終処分場事件差戻控訴審……………南川 和宣 六一—三 (二二五) 一〇七(四六七)

翻 訳

オイゲン・エールリッヒ

「ビスマルクと世界大戦」(一九二〇年)……………平田 公夫 六一―一 (二一三) 一三三 (一三三)

ヨハン・ヤーコプ・バハオーフェン

「自然法と歴史法の対立」(就任講演・一八四一年)……………平田 公夫 六一―四 (二一六) 九三 (七二三)

講演記録

韓国における国民参与裁判制度の

「最終モデル」に関する論争およびその展望……………趙 炳 宣 六一―一 (二一三) 1 (二七四)